



2023-24年度 福山西ロータリークラブ 地区補助金事業報告書 プロジェクト #01

■ プロジェクト名:

広島県立福山北特別支援学校に学習用タブレット10台を寄贈する

■ プロジェクトの概要等:

2021年11月のロータリー奉仕デーにおいて当クラブが呼びかけて頼の浦RC様と中小企業家同友会様と共に福山北特別支援学校の授業参観を行いました。働きたいと願う「障がい」を持つ若者に就職先の選択肢を少しでも広げてやりたいと願う学校の意向に応える事業になりました。これをきっかけとして校長、ジョブサポートティーチャーに卓話をして頂くなど、クラブ会員が知的障がいについて理解を深めることにもなりました。そういった中で物的支援として授業で使用するタブレットの寄贈を計画しました。学校側の要望としては40台でした。それを受けて2022年11月、当クラブは20台のタブレットの贈呈式を執り行い、その様子は地元新聞社に掲載をされています。タブレットを使用することによって効率的で理解度が高い授業が可能になります。2度目の授業参観では、例えば清掃授業では生徒の動きをタブレットで録画してその場で再生しながら指導を受けている様子が確認出来ました。

しかしながら、やはりタブレットの数量が決定的に不足しているのが現状です。全生徒333名に等しく効果を提供するためにはさらに20台が必要ですが、タブレットの値上がり、クラブの財政状況も鑑み学校側と話し合いの結果、当時の平川校長が改めて小学部、中学部、そして高等部職業コースなど全てのセクションと協議、調査した上で報告を受け、GB量を増やした10台のタブレットを寄贈することになりました。

11月28日の10時30分より、福山北特別支援学校にて学校が強く要望しているタブレット10台の寄贈においての贈呈式を執り行いました。安田校長からは、開会の挨拶の中でこのタブレットを活かしてより充実した授業を実現させて、生徒に効率的な学びを提供することが可能になることについて、心からの感謝の言葉を話されました。この度のタブレットの物的支援は、今後に向けて人の役に立ちたいと願う支援学校の生徒達に対して、私達に出来る素晴らしい支援である事を実感しました。また、支援学校の生徒達が社会の一員として活躍出来るという自身や能力をつける事、また社会での活躍の場を増やしていく事は、やがて社会の戦力になる人材を確保するということを意味していると思っています。

■ プロジェクト実施報告:



2023年11月28日(火) 広島県立福山北支援学校にてタブレット贈呈式を執り行う